



日刊工業新聞社 優秀経営者顕彰

沖縄における「鉄の道」

2月①のごあいさつ

山内公認会計士事務所

2025年1月31日(金)

日刊工業新聞社の栄えある**優秀経営者顕彰の受賞**おめでとうございます。

創業者からいただいた著書の中から、「鉄の道」を再読させていただいております。

表紙に**拓鐵興琉**の文字と浦添工場を背にしたヘルメット姿の創業者と黒島さんの二人の鉄の男の姿が印象的です。

39年前の創業者の業績に対する顕彰と、今回それを継承された拓南製鉄の古波津会長の顕彰、これは二代に渡る**快挙**であります。この二つの偉業が点としてつながって一本の線のように心に浮かんでおります。

人類が鉄を使用してから5,000年、弥生の日本に伝えられて2,000年、電炉により沖縄で初めて鉄が生産されて64年。

明治の日本は、**鉄は国家なり**と言いました。

今に至るも、鉄は単なる金儲けではなく、**社会の産業であり ESG であります**。

沖縄の県民所得が全国比0.7%台と言われる中で、拓南製鉄の電炉は、全国比1%を超える比率となっており、社会からの必要性が期待されております。

社会的使命を背景に、沖縄県における、いや全日本を視野にした“**拓鐵興琉の精神**”が生き生きと続いていくことを確信して、お祝いを申し上げたいと思います。

日刊工業新聞社の優秀経営者顕彰の受賞 心からおめでとうございます！！